



Symptoms

and

The Latest on Meaning
Reconstruction and Loss

Significance

喪失の体験と意味の再構成

レジリエンス[復元力]に関する最新動向

Robert A. Neimeyer

ロバート・A・ニーメヤー教授

2008.9.3[wed] 10:00-12:00

喪失の体験と意味の再構成

レジリアンス[復元力]に関する最新動向

人生は、大なり小なり喪失の連続です。とは言え、最愛の人を死によって失うことほど、誰にとっても大きな衝撃はないでしょう。それまで「あたりまえ」と思っていた世界が壊れ、混沌の中で、ものごとの再学習を迫られます。こうした危機を脱出するには、喪失をどう受けとめたらよいのか、あるいは、喪失の痛手に苦しむ他者をどのように支えたらよいのか。失った世界は諦めるとしても、再び意味ある自己の世界を再構成できるのだろうか。どうやって、その力-復元力-を得られるというのか。今回の講演では、「意味の再構成」理論などで大変著名なロバート・ニーメヤー教授が、喪失・死別・グリーフに関する最新の動向について、豊かな臨床経験をもとにお話くださいます。奮ってご参加ください。

講演 ロバート・A・ニーメヤー教授[メンフィス大学心理学部教授]

2008.9.3[wed] 10:00-12:00[30分前開場、途中入退場可]

司会:山崎浩司[東京大学]、鈴木剛子[グリーフ・カウンセリング・センター] 通訳:逐次通訳あり

場所:東京大学本郷キャンパス法文2号館1番大教室

入場:無料 定員:150名[定員になり次第締め切らせていただきます]

対象:死別とグリーフを中心とした死生の問題に関心のある市民、専門家、研究者、学生、葬祭業者等。

10:00-10:05 開会のご挨拶[島蘭進 東京大学グローバルCOE「死生学の展開と組織化」拠点リーダー]

10:05-11:35 講演

11:35-11:55 質疑応答

11:55-12:00 閉会のご挨拶[鈴木剛子 グリーフ・カウンセリング・センター代表]

主催:東京大学グローバルCOEプログラム「死生学の展開と組織化」

共催:グリーフ・カウンセリング・センター

東京大学大学院人文社会系研究科次世代人文学開発センター上廣死生学講座

申し込み:ホームページからお申込みください。

東京大学グローバルCOEプログラム「死生学の展開と組織化」 <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/shiseigaku/>

問合せ:Email griefworkshop@gmail.com TEL・FAX 03-5841-3736までお願い致します。